

# 大儒学者 荻生徂徠の 冒険

— 荻生家史料寄贈記念 —

2026年  
10月3日(土)  
11月29日(日)

入館無料

開館時間

10:00—17:00  
(入館は16:30まで)

休館日

毎週火曜日 (12)  
(11月3日は開館)

会場  
東京大学  
駒場博物館

〒153-8902  
東京都目黒区駒場3-8-1



主催

JSPS科研費基盤研究B  
「近世日本の学知と家伝史料：荻生家田蔵史料と水戸徳川家田蔵史料を中心に」  
(23K25268)

共催

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部  
駒場博物館、東京大学駒場図書館、東京大学  
教養学部国文・漢文学部会

協力

駒場リベラルアーツ基金

# 大儒学者 荻生徂徠の冒険

## — 荻生家史料寄贈記念 —

2021 年に、荻生<sup>おぎゅう そらい</sup>徂徠のご子孫である荻生<sup>おぎゅうしげき</sup>茂樹氏・庄子<sup>しょうじ たえこ</sup>妙子氏より、荻生家に伝わる貴重資料が駒場図書館に寄贈されました。本展は寄贈を記念して、荻生家旧蔵の徂徠関連資料を紹介するものです。

荻生徂徠（1666～1728）は、江戸時代を代表する儒学者であり、朱子学や仁齋学を批判して、独自の学問体系—いわゆる徂徠学—を構築したことで知られています。18 世紀に徂徠学は大流行し、その影響はあらゆる学術領域に及びました。

徂徠は「冒険」好きの人でした。彼の書いた旅行記である『風流使<sup>ふうりゅうし</sup>者記<sup>しゃき</sup>』には、周囲の制止をふりきって好奇心の赴くままに難所を探検する自身の姿が描かれています。実際の「冒険」だけでなく、知的な「冒険」にも徂徠は熱心でした。儒学以外にも、文学・唐話学・音楽・兵学と様々な領域に徂徠は大きな足跡を残しています。

文学についていえば、徂徠は、明代の李攀龍<sup>りはんりょう</sup>・王世貞<sup>おうせいてい</sup>の詩文を模範に掲げて当時の漢文学を一変させました。また、古典中国語（漢文）だけでなく、当時の中国語（唐話）にも関心を持ち、「訳社」という研究会を開いてその習得に励みました。音楽にも一家言を有し、現存する最古の琴譜『碣石調<sup>けつせきしょう</sup> 幽蘭第五<sup>ゆうらんだいご</sup>』の価値に気づいたのも徂徠です。兵学に関しては、『孫子』『呉子』の注釈書を著すだけでなく、独自ルールの将棋まで作っています。

荻生家史料の徂徠自筆資料などを通じて、学術の世界を縦横無尽に駆け抜けた荻生徂徠の「冒険」に興味を持って下さればと思います。

### シンポジウム

## 荻生家史料を冒険—荻生徂徠研究の新地平—

日時 2026 年 10 月 17 日（土）13：00～16：00

会場 東京大学駒場キャンパス学際交流ホール  
（アドミニストレーション棟 3 階）

定員 130 名（会場受付）

※詳細なプログラムについては、駒場博物館のホームページをご参照ください。  
ギャラリートークの開催も予定しています。



### 東京大学駒場博物館

〒153-8902

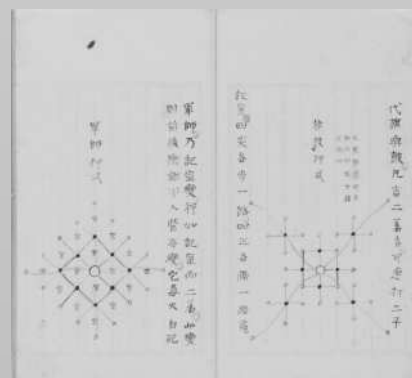
東京都目黒区駒場 3-8-1



「徂徠先生画像」



荻生徂徠『唐音指針』



荻生徂徠『広象棋譜』

科研費  
KAKENHI

THE UNIVERSITY OF TOKYO  
KOMABA  
MUSEUM